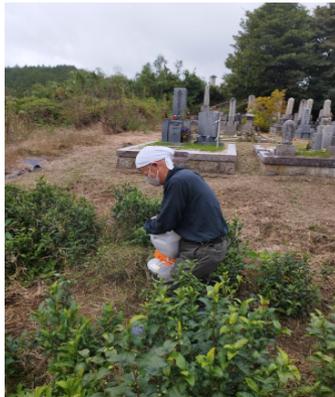


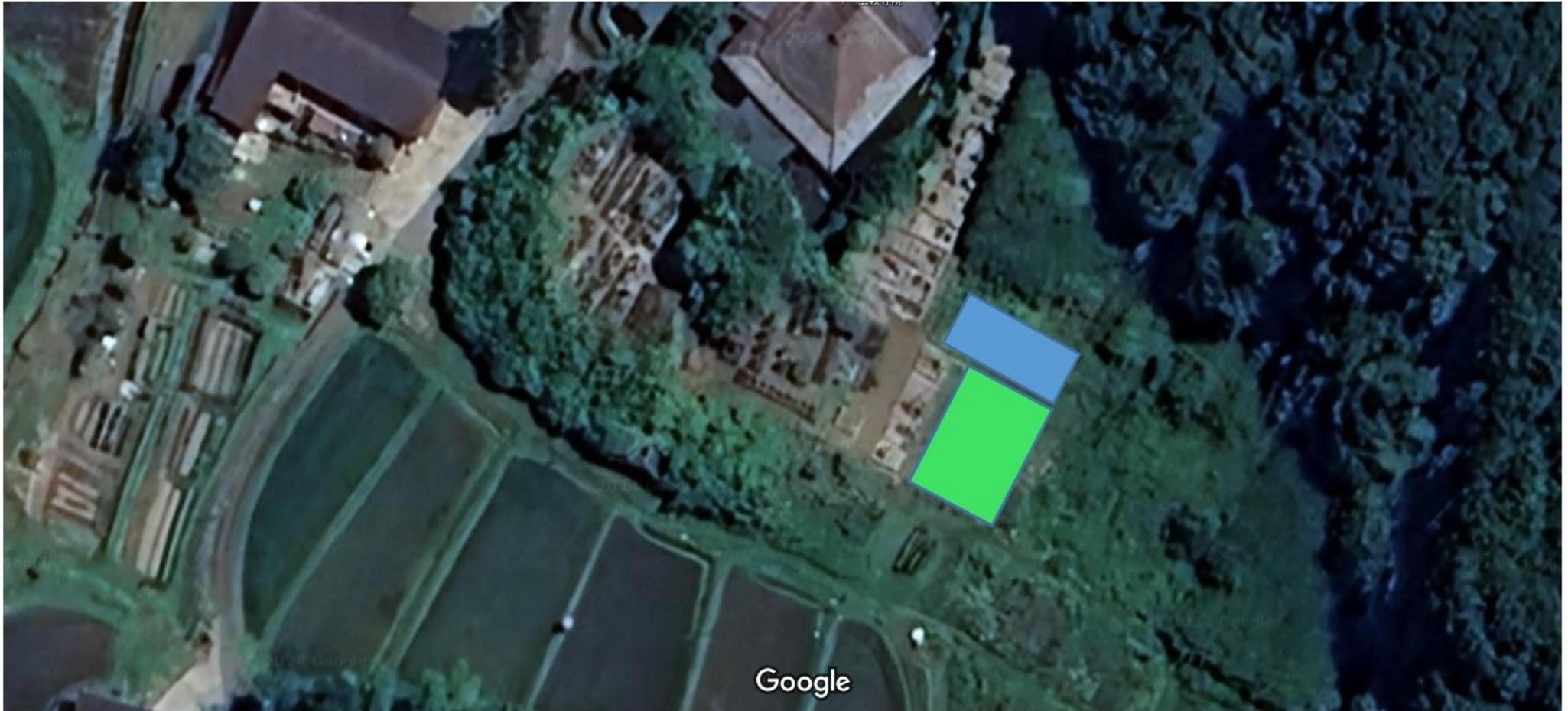
報告書

R6 年 2 月 29 日

ナチュラルソリューション

代表 福岡譲一

件名	混植栽培実証調査委託業務について
調査期間	R5 年 11 月 10 日 ~ R6 年 2 月 29 日
調査対象	茶の木とカモミールの混植栽培による、茶の木への影響を調査する
調査地	奈良県天理市福住町 西念寺裏の茶畑3a
調査結果	<p>当該茶畑は、40年近く耕作放棄されていたところを、R5年2月に三年晩茶の原料として地上10cm程度に刈り込まれた茶の木が新芽を出し、育っている状態である。</p> <p>3aのうち、2a分にカモミールを播種し、残り1aには撒かずに比較対象とする。</p> <p>※添付資料参照</p> <p>①11/13 カモミールを茶の木の畝間に播種</p> <p>カモミールの種が細かいため、上草だけをかき分けて播種した。</p> <div data-bbox="427 969 762 1366"></div> <div data-bbox="887 969 1222 1366"></div> <p>②12/8カモミールの様子を観察</p> <p>しっかりと芽が出ていることを確認した。</p> <div data-bbox="413 1518 660 1906"></div> <div data-bbox="735 1518 983 1906"></div> <div data-bbox="1082 1518 1329 1906"></div> <p>今年の4月末から5月にカモミールの花が咲く。</p> <p>茶の木と混植することで、茶の木の生育や茶の味にどのような変化をもたらすのか継続して観察し、実証していく。</p>



画像 ©2024 Airbus、地図データ ©2024 10 m

-  カモミールを播種した (約2a)
-  カモミールを播種していない (約1a)